

第1回豊山町農業用施設の管理のあり方についての懇談会議事録

- 1 開催日時：平成23年3月24日（木）
午後4時00分から5時00分
- 2 開催場所：豊山町役場 2階 会議室2
- 3 出席者：
 - (1) 委員
区委員経験者 小塚 康孝・柴田 光男・河村 秋雄
・水野 修・丹羽 明生・坪井 茂
現役区委員 岡島 敬司・坪井 利光
 - (2) 事務局
豊山町役場 経済建設部 建設課 土木・農政係
- 4 議題
 - ①座長の選出
 - ②農業用施設の現状についてなど
 - ③その他
- 5 会議資料
 - ・名簿
 - ・豊山町農業用施設の管理のあり方についての懇談会設置要綱
 - ・豊山町農業用施設配置図
- 6 議事内容

事務局 (趣旨説明)

近年の農業環境の変化により、水田に対する価値観の変化や農業経営の担い手の不足などが進展し、農業用施設の管理のあり方を考えていかなければならない時期に来ていると考える。区委員の意義や役割の範囲、現状の問題点の整理と解決策の検討、将来計画等を発言しやすい雰囲気の中で話しあっていただくため今回の懇談会を開催した。

座長 区長経験者としての苦労した点とか問題点をざっくばらんに出していきたい。豊場・青山それぞれにやり方が異なっていると思うが、順に意見をお聞きしたい。

委員 懇談会の開催に先立ち確認させていただきたい。前日も町長の諮問機関のような懇談会を開催されていたようだが、今回も同じ意味合いでいいのか。

事務局 前回の懇談会は、区委員と実行組合のあり方の懇談会。役の位置付け等の問題と区委員の職務実態の把握及びその労力の軽減等の問題を解決することによって、なり手の確保を図るものであった。その成果に基づ

いて、施設整備・改修、道具の改善等行ってきた。今回はなり手自体がいなくなるという問題について区委員経験者の皆様に建設的な意見を求めるため新しく設置したものである。

委員 農業用施設の更新・区委員の組織・担い手不足・農業経営の委託の諸問題に対して区委員のあり方を論ずる場合、農地所有者・作業の受託者（農協）・地区役員・行政の4者が連携していける仕組み作りが必要不可欠であると考えている。ハードだけでなくそういったソフト面にも主眼をおいて懇談会を進めていけるとよいのではないか。

座長 今回は皆さんの意見をお聞きすることとしたい。次回以降にその意見を上手く活用しながら会を進めてまいりたい。

委員 ある地区では区長・実行組合委員・組長と一緒にやってきた。しかし近年高齢化や世代交代、農協委託等の問題により、選出が困難になってきている。二つに分けているが同一として考えていかなければならないのではないか。

委員 地区ごとに2年交代で区委員を選出している。農業をやっている人から選挙で選出している。区委員をやっていて困ったのは、井取りが皆一緒で上は早く用水が入ってくるが、下が中々入らないこと。

委員 区長の選出方法が豊場と青山では状況がだいぶ違うように感じる。しかし豊場の現況が5年後の青山の姿ではないかと危惧している。私の地区は、実行組合の中から区長を選んでいて、現在ではまだ用水管理の仕組みは破綻していない。しかし農業委託の増加により、区委員等の役をやらなくていいと考える人が増えてきている。今後はそのような人達に対応するための用水のあり方を見直していく必要はある。区委員をやった感じたことは、勤め人が多く、緊急時の対応が非常に困難になってくると排水側から取水している人がかなりあること。この穴を埋めるとかなり水の回りはよくなると思う。近頃は土日農業で、1日で一気に用水を回さないといけない。

委員 用水管理のあり方については人的問題と施設問題の2つあると思う。施設の方は、ポンプ交換や堰の自動化など費用がかかることで行政でやってもらっている。特に重要なのは人的問題。次の懇談会までに各々がアイデアを持ち寄って、組織なり、まとまったものを作りたいと思う。それでないと愚痴ばかりになってしまう。

委員 私の地区では区長は年齢順で決まっている。区長をするまでは仕事の内容も全く知らなかった。私の地区は現在の所、制度は上手く機能している。しかしやり手がいなくなっている現状はあるため、受託者である農協にも川ざらえに参加してもらおうなど用水の管理を外部に委託す

ることも検討していかなければならないのではないかと思います。

委員

私の地区は順番で決まっている。今まではそのやり方で機能している。区委員のなり手がいないというのは部落の中でのコミュニケーションがなくなってきているのも要因ではないのかと思う。

座長

皆さんの意見を聞いていると理想と現実と照らし合わせると非常に困難になってきている。特に豊場の場合、区長を出すのが非常に難しくなっている。本来受益者の代表で用水管理はしていかなければならないことは理解しているが、農業をやっている人が非常に少なく現実的には難しい。そうなるに従来の区長が一人で抱え込む制度ではいつか破綻する。そうなる前に例えば農家の受け皿となるような団体を作るとか、シルバーに委託するとかと考えなければいけないのではないかと思います。

委員

この懇談会で最終的な成果として結論を求められるのか。

座長

結論を出すのが最も望ましい。意見を聞くだけで、前進しなければ破綻するのが目に見えている。今回は全員が区長経験者であるからこそその結論があるのではないかと思います。

委員

話を聞いていると豊場は、農家と区長の間には相当のギャップがあるように思う。

委員

総論で終わるのではなく前向きにどうするかを話し合っていきたい。例えば青山のやり方を豊場で実現可能かどうか検討することもしていきたい。

座長

次回の懇談会までに現状の問題点の改善に向けてのアイデアを皆さんにいただきたい。その参考とするために今回の議事録を配布して参考としていただきたい。